

放課後等デイサービス自己評価票

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	①	利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			基準以上の広さを確保しております	
	②	職員の配置数は適切であるか	✓			利用児童10名に対して、6～7名のスタッフ配置をしている	
	③	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適正になされているか	✓			段差解消、車いすのまま入れるトイレ完備	
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓			スタッフ全員の意見を集約するシートなどを活用して、会議等に参加することが難しいスタッフの意見も聞けるようにしている	
業務改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	✓			定期的に情報交換を行うようにしている。平成30年度は保護者アンケートを実施。結果はご家族に公表している。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			ホームページで公開している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	現状、未実施である	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			責任者による施設内研修、外部講師を招いての研修を実施している。外部研修会にも参加している。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			専用のアセスメントシートを活用して情報整理している	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			専用のアセスメントシートを活用して情報整理している	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			毎週チームミーティングを実施している	
	適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			社会体験、地域交流、ハビリテーションを軸にプログラムを作成している
		⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			社会体験、地域交流、ハビリテーションを軸にプログラムを作成している
		⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			個々人の自己実現と課題解決にフォーカスしてサービス計画を計画している。
⑮		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			スタッフの出勤時間に合わせて、一日複数回の申し送りを実施している	
供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓			毎日実施している	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			日報にて記録をつけている	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			毎月1回モニタリングを実施している	

⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	✓		実施している
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		会議内容に応じて管理者、セラピスト、看護職員、保育士などが参加するようにしている
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓		学校で作成されている児童の年間計画のコピーを受け取るようにして、自宅や学校での支援内容とデイサービスの支援内容のすりあわせを行っている
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓		Drから指示書だけでなく、手順についての確認も実施している
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓		必要に応じて保育園やご自宅を訪問している
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓		実施している
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		実施している
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		地域の親子サポーターを受け入れるなどをし、児童同士の交流機会をもてるようにしている。平成30年度は学童保育の児童と交流した。
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓		市町村主催の総合支援協議会に参加している
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		常に共通理解をもてるよう、連絡手段などに工夫をしている
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓		親御さんも参加できる研修会などを開催している
㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		実施している
㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		可能な限りサポートするようにしている
㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		父母の会の定例会に毎月参加している
㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		実施している
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		SNS等を活用してご家族へ情報発信を行っている
㉟	個人情報に十分注意しているか	✓		実施している

⑩⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			毎年、年2回面談の機会をもうけている
⑩⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			行事の時だけでなく、親子サポーターなどの受け入れも行い、日常的に地域と関わられるようにしている
⑩⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			フローチャートを作成し、状況に応じた流れが分かるようにしている
⑩⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年2回の避難訓練だけでなく、日常的に防災に関する練習を行っている
⑩⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			虐待等に関する研修会に参加できるよう勤務調整等を行っている
⑩⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			利用開始時に身体拘束についての確認を親御さんにするると共に、個別支援計画、日報等に身体拘束の内容を記載している
⑩⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			アレルギーの把握のため、アレルギー一覧を作成しオヤツBOX等に貼り付けて漏れの無いようにしている
⑩⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		✓		事例集は作成していないが、法人内だけでなく、他事業所等であったヒヤリハット事例を連絡会の中で共有したりしている